

山口情報芸術センター [YCAM] 展覧会

Afternote 山口市 映画館の歴史

2023年11月25日(土)～2024年3月17日(日)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB、2Fギャラリー

山口市内の映画館の歴史を辿る

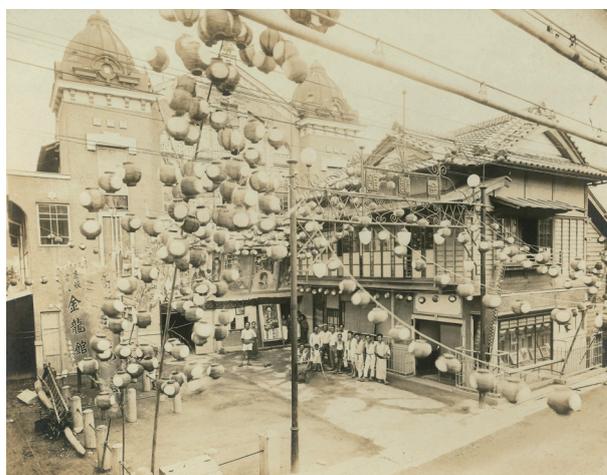
地域の記憶とともに映像メディアの変遷を振り返る展覧会

山口情報芸術センター [YCAM] では、山口市内にかつて存在していた複数の映画館の軌跡を辿る展覧会「Afternote (アフターノート) 山口市 映画館の歴史」を開催します。

山口市は日本で数少ない映画館が存在しない県庁所在地と言われていますが、かつては10館以上の映画館が存在していました。本展では、映画館が稼働していた時代の地域の記憶を、地域に眠る資料や、200名を超える関係者らのインタビューを通じて振り返っていくものです。

会場には、当時のポスター、記録写真、印刷物、道具類などの資料とともに、映画館の位置を記した地図、年表、映像資料などを展示するほか、アーティストの志村信裕の映像作品「Afternote」を上映します。また関連イベントとしてワークショップやトークイベントを開催するほか、山口にゆかりのある映画の特集上映も実施します。

映画館にまつわる地域の記憶を掘り下げながら、映像メディアの変遷を振り返る本展を通じて、メディアテクノロジーと人々の生活との関わりについて再考するきっかけを生み出します。この機会にぜひご参加ください。



山口市内にあった映画館「金竜館」(1927年頃/村藤直子蔵)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

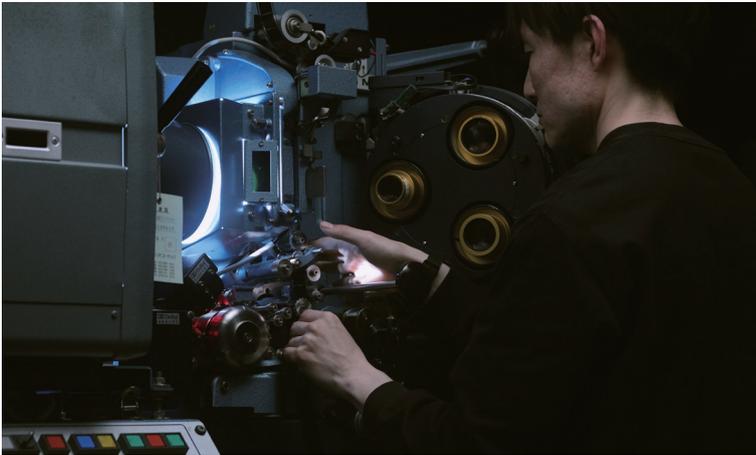
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

メディア・テクノロジーを用いた表現としての映画



映像作品『Afternote』(2023年/監督:志村信裕)

YCAMにおける、展覧会やパフォーマンス・アーツと並ぶ活動の柱が、映画作品の上映です。主な上映会場となるスタジオCは、35mmフィルムからデジタル上映まで幅広い上映素材に対応した上映機材を備え、映画をきっかけにメディア・テクノロジーを用いた表現のエッセンスの一端に触れられるよう、古典から最新作まで幅広い時代かつ、さまざまなジャンルの映画の上映をおこなっています。また上映に合わせて、監督や出演者らのトークイベントやワークショップも随時開催するなど、映画を起点とした交流の場としても機能しています。

映画鑑賞を取り巻く環境は、この20年ほどで大きく変わりました。娯楽が多くはなかったかつての時代、映画は、映画館で他の観客とともに大きなスクリーンを共有して体験するものでした。ひとつの映画館が娯楽性の高い大作から芸術性の高い作品まで、幅広いラインナップで上映をおこない、娯楽の中心に映画が存在していました。時代の変化とともに娯楽も多様化し、また映画を取ってみても、技術の発達とともに、現代ではスマートフォンやコンピューターなどを用いて、個人の空間で映画を観ることが当たり前になりつつあります。そうした流れを受けて、山口市においても、終戦直後から1950年代にかけて、10館以上の映画館が存在していましたが、現在では単独の映画館として運営されている施設は存在しません。

本展ではかつて山口市内に存在した映画館の歴史、そして映画館とともに消えてしまったもの、現在に受け継がれているものを、メディア史の観点も参照しながら、再確認していきます。

■ YCAM シネマ

YCAMが実施している映画上映事業の名称。開館当初は「コミュニティシネマ山口」として、10人程度の市民で構成される「シネマコミッティー」が選定した映画を中心に館内のスタジオCで上映していた。2008年から現在と同様にYCAMが選定を担うようになり、休館日を除いては上映イベントを実施している。

YCAMでは、スタジオCでの上映と並行して、コンサート用の音響機材を活用して上映する「YCAM爆音映画祭」や、野外で上映する「真夏の夜の星空上映会」など、一般的な上映設備とは異なる環境での鑑賞体験を提供している。

資料と映像作品で迎える山口市の映画館



『甦生の大山口』(1929年)

展覧会は、会場となるスタジオBの手前、2階ギャラリーに展示するマップと年表からスタートします。マップには映画館のあった場所および外観写真などが掲載されます。年表には、かつて山口市に存在した10館を超える映画館がいつ開館して、いつ閉館したのか、その時期を記しています。ここでは、大正、昭和、平成、令和にかけての山口市の歴史のほか、芝居小屋から映画館への変化や、無声映画からトーキーへの変化など、メディア史の変遷も盛り込んでいます。

スタジオBには、現在のスライド映写機の原型とも言える明治時代の「幻灯機」(山口市歴史民俗資料館蔵)や、映画館の前身となった芝居小屋の資料、1929年に制作された山口を映す最古の映像とも言われる『甦生(こうせい)の大山口』(1929年)が来場者を迎えます。他にも、写真資料やかつての映画ポスターの資料、山口市内で開業していた看板職人の道具類やスケッチブック、割引券などの資料や、山口大学の映画サークル「ワカバ会」に関する資料なども展示します。

そして、今回の展示のためにアーティストの志村信裕が制作した展覧会と同名の新作の映像作品『Afternote』を会場内の巨大スクリーンで上映します。志村は過去にYCAMで35mmフィルムの映写に従事していた経験を持ち、制作にあたってYCAMのスタッフとともに、山口市内の資料の調査や、200名を超える関係者らのインタビューを敢行。本作は市民にとっての映画館の記録と記憶を綴ったドキュメンタリー映像となります。

■ 志村信裕 (しむら・のぶひろ)

1982年東京都生まれ、千葉県を拠点に活動。2007年武蔵野美術大学大学院映像コース修了。秋吉台国際芸術村での滞在制作をきっかけに2013年から2015年まで山口市を拠点にする。2016年から2018年まで文化庁新進芸術家海外研修制度により、フランス国立東洋言語文化大学(INALCO)の客員研究員としてパリに滞在。身近な日用品や風景を題材にした映像インスタレーションから、近年では各地でのフィールドワークを元に、ドキュメンタリー的手法を取り入れた映像作品を制作。ローカルな視点から、可視化され難い社会問題や歴史に焦点をあてるプロジェクトを手がける。

開催概要

Afternote 山口市 映画館の歴史

2023年11月25日(土)～2024年3月17日(日) 10:00～19:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB、2Fギャラリー

入場無料

休館日：火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日(2月28日～3月7日)

会場内映像上映スケジュール

Afternote (2023年/60分)

上映：毎時30分～ (最終上映 17:30～)

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

アーティストトーク

2023年11月25日(土) 14:00～15:30

会場：スタジオC 参加無料

登壇者：志村信裕、会田大也 (YCAM)、前原美織 (YCAM)

アフターウォーク～映画館の跡地を辿る～

2023年12月3日(日) 13:30～15:30

集合場所：COFFEEBOY 山口店 (山口市道場門前2-2-5) 参加無料(要申込)

定員：10人(先着順)

幻灯機ワークショップ

2023年12月23日(土) 14:00～16:00

会場：レストランスペース 参加無料(要申込)

定員：10人(先着順) 対象：小学3年生以上(要保護者同伴)

古地図で楽しむ 映画館の跡地、映画ロケ地 探訪

2024年1月17日(水) 12:15～13:15

会場：スタジオC 参加無料

講師：重田香澄(山口県文書館)

クロージングトーク

2024年3月17日(日)14:00～15:00

会場：スタジオC 参加無料

登壇者：志村信裕、石井草実(リサーチャー)、前原美織 (YCAM)

■ 関連イベントの申込方法

関連イベントの詳細ならびに申込方法はYCAMのウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp

関連イベント

35mmフィルムを楽しもう！映写技師レクチャー

2024年1月20日（土）

会場：スタジオC 参加無料

講師：村岡由佳子（映写技師）

写真展：金竜館と商店街

2023年12月1日（金）～2024年1月15日（日）10:00～19:00

年中無休（年末年始を除く）

会場：COFFEEBOY 道場門前店（山口市道場門前2-2-5） 入場無料

■ 関連イベントの申込方法

関連イベントの詳細ならびに申込方法はYCAMのウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp

関連上映

上映作品の詳細やスケジュール、トークイベントの情報などはYCAMのウェブサイトをご確認ください

山口県内ロケ作品

2023年11月25日（土）～2024年3月17日（日）

- 流離の岸（1956年／日本／101分／配給：日活）[山口市、萩市]
- 追跡（1961年／日本／93分／配給：日活）[ロケ地：山口市、周南市、光市、防府市、岩国市、萩市、宇部市、美祇市、柳井市／下松市]
- 集金旅行（1957年／日本／103分／配給：松竹）[ロケ地：山口市、岩国市、萩市]
- 愛の讃歌（1967年／日本／94分／配給：松竹）[ロケ地：柳井市]
- 隣人のゆくえ（2017年／日本／77分／配給：灯台守・柴口組）[ロケ地：下関市]
- ウソトホント（2022年／日本／82分／配給：灯台守・柴口組）[ロケ地：下関市]
- 凧の島（2022年／日本／107分）[ロケ地：周南市、柳井市]
- 見島牛（日本／20分）[ロケ地：萩市]

田中絹代監督作品

2024年1月29日（月）～2月11日（土）

- 月は昇りぬ（1955年／日本／102分／配給：日活）
- 乳房よ永遠なれ（1955年／日本／110分／配給：日活）

特別アンコール上映

2024年1月4日（木）～14日（日）

- ぼけますから、よろしくお願ひします。（2018年／日本／102分／配給：ネツゲン）
- ふたりの桃源郷（2016年／日本／87分／製作：山口放送）